

未来へ投資!! 『みんなで創るまち』予算

問合せ 財政課(☎51・2117) HP 10519

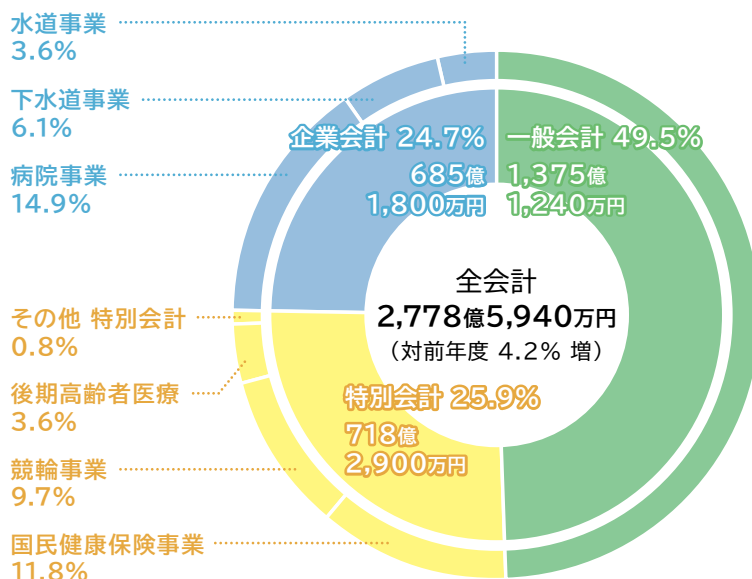
豊橋市の未来を担う人への投資を、子育てや教育、産業などの分野で幅広く行うほか、物価高騰や新型コロナウイルス感染症への対策を引き続き実施します。

この特集では、令和5年度予算で行う取り組みの一部を紹介します。

詳しい資料は
こちらから



「予算の見どころ」
PDF



※円グラフの各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります

物価高騰対策

プレミアム付電子商品券「TOYOPay」を発行

事業者や市民への支援として、プレミアム率30%の電子商品券を15万セット発行し消費を下支えするとともに、経済活動を活性化させます。



約2億9,000万円

学校給食の無償提供など(4月～9月)

市立小・中学校などの学校給食を無償提供するほか、弁当を持参する児童生徒や私立学校などに通う児童生徒の保護者、就学援助などの受給世帯に臨時給付金を支給します。



約8億4,000万円

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症患者の支援

受診・相談センターを引き続き運営し、健康相談などの療養者への支援、希望する方へのワクチン接種を実施します。



約30億円

市民病院に感染症専用病棟を整備

さまざまな感染症に対応するため、全病室を個室とし、異なる感染症の患者が同時に入院できる病棟を整備します(令和6年2月完成)。



約11億円

分野別計画に基づく主な取り組み

活みなぎり、はつらつと働けるまち

産業人材を育成する環境づくり

新たな知識や技術を身に付けるリスキリングなどの学び直しを支援するため、企業や個人への調査や産学官が協働して取り組む推進組織の形成を進めます。



豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち

子育て世帯の経済的負担軽減

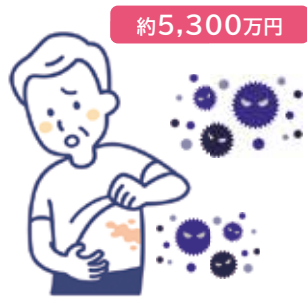
低所得世帯の第1子の保育料無償化、出産・子育て応援給付金の支給に加え、令和6年1月から18歳到達年度末までの医療費を無償化し、子育て世帯を幅広く支援します。



みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち

带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成

带状疱疹の発症と重症化を防ぐため、50歳以上の方を対象に带状疱疹ワクチンの接種費用の助成を開始し、市民の経済的負担を軽減します。



命の安全、心の安心が確保されたまち

動物愛護センター(仮称)の整備

人と動物が共生する住みよいまちを目指して、動物の愛護や犬・猫の譲渡、災害時の動物救護などの拠点となる施設の整備を開始します。



魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち

憩いとにぎわいのある魅力的な駅前大通りの実現に向けた実証実験

駅前大通りを誰もが滞留しやすく、歩いて楽しい通りにするため、「豊橋まちなか未来会議」と連携して実証実験を実施し、駅前大通りのめざす姿を描いた基本計画を作成します。



互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち

美術博物館をリニューアルオープン

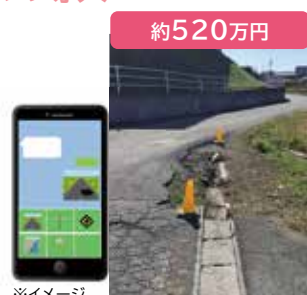
リニューアル工事の完了にあたり、記念展「ブルターニュの光と風」を令和6年3月1日(金)より開催するほか、中庭の彫刻展示やコレクション展示を一新します。



暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち

「LINE」で道路の異常箇所を通報できるシステムの導入

道路の異常箇所の状況写真や位置情報などをLINEで通報できるシステムを導入し、素早い把握と対応につなげます。



自然と共生し、地球環境を大切にすまち

「ゼロカーボンシティとよはし」の実現に向けた取り組み

公共施設への太陽光発電設備の導入や電気自動車購入費用の助成件数を拡充するなど、脱炭素化に向けた取り組みを引き続き推進します。

